

JENESYS2016（派遣プログラム）

（派遣国：フィリピン/ 高校生/ テーマ：日比国交正常化 60 周年）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラムの一環として、日本の高校生および引率者計 23 名がフィリピンへ派遣され、日本の経済、産学、歴史、自然、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2 月 13 日から 2 月 21 日までの現地 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。「日比国交正常化 60 周年」をテーマとし、まにら新聞社、JICA フィリピン事務所での講義で両国の歴史的背景の理解を深め、テーマの一端にゆかりあるモンテンルパ市の 2 校を訪れ学校交流を行いました。日本の伝統・ポップカルチャーの魅力、社会や教育についての発表と実演は盛り上がり、現地学生の注目を集めました。両国学生が共に参加して行った日本人墓地・慰霊碑/平和祈念塔での献花と平和祈念セレモニー、また、ホームビジットでの家族との温かい交流は、心に刻まれる貴重な体験となりました。プログラムを通して多くの刺激を受けた参加者は、各々の気づきや体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前報告会では、派遣地での気づきと経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）を発表しました。

【参加校・人数】

岡山県立玉島商業高等学校 23 名

【訪問国】

フィリピン共和国

2. 日程

- 2 月 13 日（月） 【オリエンテーション】
福岡空港より出発 — マニラ着
- 2 月 14 日（火） 【表敬訪問】日本国大使館、国家青少年委員会 (NYC)
【市内視察】アヤラ博物館
- 2 月 15 日（水） 【視察・訪問】JICA フィリピン事務所
【日系企業訪問】まにら新聞社
- 2 月 16 日（木） 【学校交流】Muntinlupa Science High School
- 2 月 17 日（金） 【学校交流】Muntinlupa National High School in Tunasan
【市内視察】モンテンルパ市：New Bilibid Prisons 地区、Alabang 地区、
* 日本人墓地慰霊碑/平和祈念塔にて両国学生による平和祈念セレモニー
- 2 月 18 日（土） 【ホームビジット】
- 2 月 19 日（日） 【市内視察】マニラ市：イントラムロス周辺 * 青少年自立支援 NPO 運営レストランで「ユニカセ」で昼食（ブリーフィング）
【ワークショップ】
- 2 月 20 日（月） 【報告会】【商業施設】
- 2 月 21 日（火） マニラ発—成田空港到着

3. プログラム記録写真

	
<p>2/14 【表敬訪問】国家青少年委員会 (NYC)</p> <p>【Courtesy Call】 National Youth Commission (with NYC commissioner)</p>	<p>2/14 【日系企業訪問】まにら新聞：テーマ「日比国交正常化 60 周年」に関する講義</p> <p>【Visit/Lecture】Manila Shinbun: Receiving the lecture specific to the Theme by a senior journalist</p>
	
<p>2/16 【学校交流】モンテルパサイエンスハイスクール：日本の伝統文化「昔あそび」の紹介</p>	<p>2/17 【市内視察】モンテルパ市の日本人墓地・慰霊碑/平和祈念塔：テーマ「日比国交正常化 60 周年」両国学生による平和祈念セレモニー</p>
<p>【School Exchange Program 1】 Muntinlupa Science High School: Introducing Japanese traditional games</p>	<p>【Exchange Program 2 on Theme】 Muntinlupa National High School: Flower offering and prayer ceremony for peace & harmony at Japanese Cemetery/Peace Memorial Monument</p>
	
<p>2/18 【ホームビジット】</p>	<p>2/20 【報告会】</p>
<p>【Home Visit Program】</p>	<p>【Reporting Session】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 岡山県立玉島商業高等学校 生徒

私が印象に残ったことは2つあります。1つ目はフィリピンの方々と日本人慰霊碑/平和祈念塔で加賀尾 秀忍師を含めた両国戦争犠牲者に一緒に花を捧げ、平和を誓ったことです。私たちはフィリピンに行く前の事前学習で初めて加賀尾 秀忍師のことを知りました。彼は多くの日本人を救ってくれた英雄であると学んでフィリピンを訪れました。しかし、マニラ新聞社での講義で、フィリピンの人々からすると多くの仲間の命をうばった日本兵を救ったひどい人だという認識があるかもしれないと知った時、私は過去の日本がどれだけ残酷なことをしたのか改めて実感しました。そして、二度と起こしてはいけないと思いました。そんな中でフィリピンバディの学生の皆さんと平和を誓うことができ、私は本当に嬉しかったです。こんな悲劇が二度と起こらないように日本の若い世代に伝えていきたいです。

2つ目はフィリピンの人の温かさです。プログラムに参加した人は全員知っていますが、フィリピンの人はとても優しく、おもしろいです。私はあまり英語が話せないのですが、それでも自然と笑顔になれる、言葉を越えたコミュニケーションがとれる、そんな人達が大勢おられます。日本とは大分違ったのでとても驚きました。私たちのために、部屋を冷やしてくださったり、フィリピンのことについてたくさん教えてくださったりと、フィリピンの方々は小さな気配りが出来る人たちです。日本と比べると、といてしまうと失礼かもしれませんが、そう思うほどフィリピンの方々は優しかったです。フィリピンに行ったことのない人もぜひ行ってほしいです。私はその事を日本に持って帰り、友達や家族、SNSで発信していきたいと思います。

◆ 岡山県立玉島商業高等学校 生徒

今回のプログラムでたくさんのことを学ぶことができました。一番感動したのは、フィリピンの方々の心の温かさに驚きました。日本人にはないもてなし方や笑顔とか、とても心に響きました。涙がとまらなかったです。フィリピンと日本は、これほど昔から関わりがあって深い関係があるということを知りました。この関係を保っていくためにも今回学んだことや、どうすればより良くなるかを考えて、少しでも役に立ちたいです。

自分たちが実際に生徒のみなさんと日本の伝統文化で遊んだときは、とても楽しかったです。みんな素直に笑って、日本とフィリピンもこれからずっと仲の良い国同士であってほしいと強く思いました。

機会を得ることは難しいかもしれませんが、私は大学で留学したいと志しているので、今回学んだこと、反省点を生かして、もっと世界を見て日本のためにできることをしたいです。今回のプロジェクトで本当に多くのことを経験しましたが、まず今から始めようと思っているのが英語の勉強です。英語ってすごい、言葉ってすごいと思いました。視野が広がるし、自分の気持ちを伝えることができる、真剣に取り組んでいきます。現地で出会った友だち、ファミリー、Facebookで友達になった人たちと、これからも繋がって、お互い頑張って、また再会できる日を楽しみにしています。

◆ 岡山県立玉島商業高等学校 生徒

私は今回の訪問で、フィリピン人の温厚さがとても印象に残っています。学校訪問では、率先してエスコートして下さり、不安が一気に吹き飛びました。日本では考えられない事をたくさん経験することができました。事前に歴史や現状など勉強したつもりでしたが、実際に行ってみると、現地地しか学べないことをたくさん学ぶことができました。フィリピンではスリに気をつけろと言われ、危ない国かと思っていましたが、行ってみると、スリどころか、どの方も親切に話しかけてくれました。私の英語はあまり通じないのに、イライラせず、英顔で話してくれたことがとても嬉しかったです。

私は、この経験を通して、もっといろんな国に行ってみたいと思いました。そのために、もっと英語の勉強をがんばりたいです。フィリピンの方の中には、日本語を喋れる方もいて、とても驚きました。学校訪問のパディの子はタガログ語をたくさん教えてくれて、私は日本語を教えました。言語や生活など、たくさんの方が違うけれど、現地の方が優しく丁寧に教えてくれたおかげで、この9日間を過ごすことができました。

私はこの経験を忘れることはないと思います。現地の方も私のことを忘れないでほしいです。また、同じ方に会えたらいいなと思います。この経験を自分ひとりではなく、たくさんの人に発信し、より多くの人と共有したいと思います。多分、他の人はフィリピンのことを危ない国と思っていると思うので、私たちがフィリピンの良さを伝え、多くの人に行ってみようと思ってもらいたいです。

5. 受入れ側の感想

◆ モンテルパ サイエンス ハイスクール 生徒

日比交流プログラムのお蔭で互いの学生間に結束ができ、互いの国の情報を交換し交流することができました。日比友好関係ははっきりとした揺るぎないものです。日本人学生からその歴史背景、文化などの話を聞き、大変有益で、楽しく学べました。日本が益々好きになり、学べたことを感謝しています。楽しく素晴らしい行事でした。

このプログラムは良く運営され、大変楽しい経験となりました。お互いの歴史、信仰、文化を学びながら、皆が絆を結び、友情を深めました。このような行事が将来もっと行われることを楽しみにしています。

◆ モンテルパ サイエンス ハイスクール 生徒

日本の学生と一緒に本当に楽しく、感謝しています。太鼓の演奏では皆の音がピッタリ合っているのに驚きました。太鼓の演奏は簡単ではないと思いますが、彼らの素晴らしい演奏を見て、私たちは日本文化をより理解できました。私たちも英語を教えながら交流したので、彼らの英語力は壁にはなりません。重要なのはお互いに共有したい考え方や思いで、交流の時、日本の学生の皆さんはそれをうまく表現してくれました。私たち全員にとってこのプログラムは素晴らしい機会でした。

お互いに精一杯準備をして、当日多くを学びあうことができ、大成功だったと思います。この交流プログラムに参加して分かったことは、学ぶ上での最良の方法は「経験」することです。ありがとうという言葉だけではこの感謝の気持ちを言い表すことはできません。本当に素晴

らしい経験で、何度でも参加したいと思います。

◆ **モンテパ ナショナル ハイスクール 生徒**

彼らのパフォーマンスがとても良かったです。その日に会ったばかりなのに、日本にあるものを共有してくれました。学生はそれぞれの才能を十分に発揮して、その交流を通して、フィリピン人と日本人の絆が生まれました。特にフィリピンを訪問したい国の1つとして選んでくれたことが嬉しく、彼らのとても温かい姿勢を感じました。それぞれの経験を共有することにより、お互いに理解し合うことができました。言葉を超えて、フィリピン人と日本人がこのように一つになれるとは思っていませんでした。

◆ **モンテパ ナショナル ハイスクール 生徒**

和太鼓のパフォーマンスは圧巻でした。日本の皆さんは友好的で、とても規律正しかったです。彼らをもっと知りたいと思いました。交流プログラムに私たちの学校を訪問先として選んでもらえてとても嬉しかったです。私たちの文化を彼らに紹介することができたことも興奮しました。他の国との関係を築くためのコミュニケーションの機会となる、このような交流プログラムがまた行われることを期待しています。

6. 参加者の対外発信

	
<p>【日本の魅力の発信：和太鼓の実演】 太鼓クラブで練習を積んだ代表生徒の素晴らしい演奏は、本格的な日本の伝統文化に触れた現地生徒を魅了し、日本への感心を大いに高めた。</p>	<p>【テーマ：日比国交正常化60周年】 ゆかりある慰霊碑/平和祈念塔にて、両国学生は共に献花と平和祈念のセレモニーを行った。貴重な交流の機会を日比参加者はそれぞれにSNSを通して発信した。</p>
<p>【Japanese Traditional Drum Performance】 The excellent drum session by the students of school drum club attracted many local students increasing their interest to Japan.</p>	<p>【Joint Program on Theme】 The students of both countries offered flowers and peace prayers altogether at Japanese peace memorial monument and share the precious experience by SNS.</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>Japan Friendship Ties Program JENESYS 2016 Outbound Program for Senior High School Students to the Philippines Workshop presentation</p> <p>1. Our School Song 2. Our Finding and experience • Traveling • Life • Warm personality 3. Action Plan (Activities)</p> <p>HISTORY ENVIRONMENT ISSUES</p> <p>SOCIAL POLARIZATION</p> <p>Very gentle</p>	<p>3 Action Plan (Activities) <i>Presentation at school</i></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">School Events</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Feb.</td> <td>In-school Report session</td> </tr> <tr> <td>April</td> <td>Welcome ceremony for new students</td> </tr> <tr> <td>July</td> <td>Open School (for the 9th grade)</td> </tr> <tr> <td>Sep.</td> <td>Open School (for the 8th grade)</td> </tr> <tr> <td>Oct.</td> <td>School Festival</td> </tr> </tbody> </table> <p>Brochures Booklets</p> <p>Tamashima TV Broadcasting Continuing SNS communication</p>	School Events		Feb.	In-school Report session	April	Welcome ceremony for new students	July	Open School (for the 9th grade)	Sep.	Open School (for the 8th grade)	Oct.	School Festival
School Events													
Feb.	In-school Report session												
April	Welcome ceremony for new students												
July	Open School (for the 9th grade)												
Sep.	Open School (for the 8th grade)												
Oct.	School Festival												
<p>【アクション・プランの発表 1】 数々の気づきと経験、テーマに沿って深められた両国が共有する歴史背景、友好関係、将来の可能性、また、フィリピンへの関心等を発信すべく、報告内容をまとめ、発表への準備を行う。</p>	<p>【アクション・プランの発表 2】 学内、文化祭での発表、報告資料の配付、地方テレビ局(たまテレ)との協働による特番放映など、周囲に広く認識してもらう。また、引き続き SNS を活用して、交流を継続、両国の友情を育む。</p>												
<p>【Action Plan 1】 To summarize report and prepare for debriefing sessions inside and outside the school in order to disseminate a lot of awareness and experience, the historical background shared by the two countries deepened along the theme, friendship, future possibilities, good points of the Philippines, etc.</p>	<p>【Action Plan 2】 To make presentations, distribute reports, and provide materials with local TV station (Tama Tele) to air a special program, etc. in order to share the experiences widely to surrounding people; and to continuously promote SNS communication to nurture the friendship between the two countries.</p>												